



いの 議会だより

No. 115
平成29年10月
発行/鳥取県日野町議会



9月定例会 主な内容

- ・28年度決算審査報告 p 2～4
- ・29年度補正予算・条例 p 5
- ・一般質問 (7人) p 8～14
- ・日野高校生議会 p 15
- ・特集コーナー p 16

コミュニケーションで笑顔に！

高齢者見守り活動(真住公民館)

裏表紙に関連記事を掲載しています

平成29年9月定例会は、9月7日から28日までの22日間の会期で開催。今回は平成28年度の一般会計と6特別会計の決算を審議し、賛成多数で認定しました。その他に、条例の制定・改正と補正予算を原案通り可決しました。

平成28年度決算

総額40億円 どげな仕事したかいな？

医療と保健・福祉の連携
4,535万円

町民の健康づくりと、いつまでも
生きいき暮らせるために

子育て
教育環境の整備
1億2,044万円

安心して出産子育てができ、
子ども達がのびのびと
成長できるために

公共施設の整備
1億300万円

だれもが安心安全に
快適に暮らせるために

移住・定住
6,769万円



公共施設の整備・文化センター



子育て・おひさまひろば

決算の注目点

収入未済額が依然多額

本来、年度末までに納められていなければならぬのに、まだ未納のものが「収入未済額」です。

平成28年度末では、一般会計・特別会計合わせて1億1977万円です。これは昨年と比べて1231万円の減少となりました。このうち822万円は元サンプラザ建物の固定資産税滞納分を不納欠損として処分した結果であり、残りの滞納分については、遅々とした徴収状況と言わざるを得ません。

執行部には、鳥取県の債権回収機構の更なる活用も含めて、引き続き債権の回収に努めていただきたいものです。

不納欠損処分

これまで「収入未済額」に計上して町が未収金の徴収に努めてきたが、やむを得ぬ事情でこれ以上の徴収が見込まれないと判断した場合には「不納欠損処分」が行われます。28年度には4件、合計972万円発生しました。

不能欠損処分を行うと、実質的に町の持っている債権が消滅することになります。従って、実施にあつ

決算審査特別委員会指摘事項

収入未済額

町財政に与える影響は大きく、引き続き徴収に努められるよう指摘しました。一方で、軽自動車税・住宅使用料・保育料・介護保険料・上下水道使用料などは、現年度分の徴収率が100割であり評価できる。

Ｊアラートの保守契約

先日の全国一斉の試験において、本町では作動しないという不具合があった。町民の安心安全の観点からも、二度とこのような事態が起こらないよう、保守点検の頻度について業者と再確認をされたい。

たたらのもりづくり事業

色々な取り組みがなされているが、将来の展望が見えない。今後どのように事業を展開するのか、具体的に示されたい。

移住者受入れ支援補助

補助金を出したにも拘わらず、施設が活用されていない。補助金の交付決定に

際しては、事業の継続性なども厳密に審査し、補助金の有効活用を図られたい。

農林業への補助金

農地中間管理機構活用や間伐材搬出補助金など、農林業への補助金に多くの予算残額が生じている。農家、森林所有者への啓発に努め、関係団体とも連携して補助金の活用を図られたい。

事業の執行について

予算の執行率が84割に低下した。（前年度は92割）40億円と拡大した町予算の効率的な執行に向け、事業の執行体制や新規職員の確保に努められたい。

総括意見

財政健全化判断比率は、いずれの項目も財政の健全化が着実に図られていることを示す結果となっている。将来負担比率も着実な基金積み立てによりマイナス表示である。これらは、職員一丸となって取り組んだ成果と、大いに評価する。

賛成		決算認定に	
山形	克彦議員	金川	守仁議員
松尾	信孝議員	松本	利秋議員
中原	信男議員	安達	幸博議員
中本	幸博議員	松永	明文議員
佐々木	求議員	佐々木	求議員
反対			

主な収入未済額

区分	調定額 (納入すべき金額)	収入済額 (納入した金額)	不納欠損額	収入未済額	対前年比 単位:千円
町民税	107,834	107,532		302	143
固定資産税	238,097	215,060	9,508	13,529	▲7,867
住宅使用料	17,453	13,929		3,524	▲381
住宅新築資金貸付	64,895	2,370		62,525	▲1,942
災害援護資金貸付	16,231	1,010		15,221	▲1,010
国民健康保険税	82,895	58,477		24,211	▲1,207
その他	258,462	258,001	207	461	▲51
合計	785,867	656,379	9,715	119,774	▲12,315

●**条 例**

●**日野町財政調整基金条例の一部改正**
剰余金の2分の1以上の積立規定を削除する。

●**日野町公共施設等長寿命化基金条例の制定**
公共施設等の改修や修繕、除去等にかかる費用を確保するため基金を設ける。

●**補正予算**

●**一般会計**
補正額3億6083万円を追加し、総額を37億665万円に。
《歳出の主なもの》
・公共施設等長寿命化基金への積立
1億3000万円
・文化センター空調等設備改修工事設計委託業務
467万円
・金持テラスひの運営費

●**質 疑**

●**議員** 「金持テラスひの」の歳入の詳細について。
●**課長** この施設に出店する企業の平成29年12月から平成30年3月までの使用料（74万円）を計上しています。
●**議員** 土木費の道路橋梁費補助金が減額となっているが、その内訳は。
●**課長** 交付金が約8割程度で903万円の減額となったものです。
●**議員** 文化センターの設計

●**534万円**
・防災行政無線基地局設備更新
409万円
・リバーサイドひの看板等修繕
204万円
・都合山たたら遺跡案内板等設置
90万円
・菅福社会体育館屋根等修繕
1361万円
・下榎集会所屋根修繕
504万円
・下榎共同作業所乾燥室屋根修繕
366万円
・滝山公園内園路修繕
200万円
・町道近江畑線法面修繕
249万円

公共施設の整備・日野中央浄化センター（舟場）

文化センター音響設備等改修

特 別 会 計 (単位:万円)			
会計別	補正額	総 額	補正の主な理由
国民健康保険	2,229	45,943	基金積立・国県への返還金
介護保険	1,558	71,721	保険給付費・国県への返還金
後期高齢者医療保険	8	5,289	広域連合への納付金
簡易水道	296	17,281	一般管理費
公共下水道事業	340	15,992	施設の維持管理等計画書作成委託料

●**平成29年 第5回臨時会**
平成29年8月21日開会
●**建設工事請負契約の締結について**
・元日野サンプラザ改修工事（第3期）の契約
1億8846万円
・公共下水道日野中央浄化センターの建設工事委託の契約
1億2680万円
●**採決の状況**
2議案とも全会一致で可決

●**教育長** これから設計に取り掛かるので、最良の方法に進めたい。
●**教育長** これから設計に取り掛かるので、最良の方法に進めたい。
●**根雨浄水場更新改良工事の契約**
6642万円
●**採決の状況**
全会一致で可決

○一般会計・特別会計決算 (単位:千円)			
区 分		歳入総額	歳出総額
一般会計		3,628,436	3,390,046
特別会計	国民健康保険	448,715	412,867
	介護保険	631,421	623,997
	後期高齢者医療保険	51,816	51,734
	簡易水道	94,270	94,270
	公共下水道事業	104,910	104,910
農業集落排水事業		39,638	39,638
計		4,999,206	4,717,462

* 翌年度に繰り越しました。

○地方債(借金)の推移 (単位:千円)					
区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般会計		2,904,664	2,621,276	2,239,395	1,981,516
特別会計	簡易水道	695,416	633,135	572,040	513,330
	公共下水道事業	705,957	647,325	589,660	536,556
	農業集落排水事業	395,592	354,843	325,559	299,555
計		4,701,629	4,256,579	3,726,654	3,330,957

一般会計基金残高と地方債(借金)の推移

ふれあいまつり（今年は11月18、19日開催）

○一般会計基金残高(積立金)の推移 (単位:千円)					
区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
財政調整基金	1,146,036	1,298,252	1,401,607	1,523,031	1,624,508
減債基金	160,119	108,864	135,602	135,667	235,716
地域振興基金	7,681	7,684	7,685	7,687	7,689
町営バス購入基金	25,019	25,527	26,035	31,021	22,752
観光振興事業基金	16,411	19,340	21,822	31,112	31,357
その他基金	24,051	23,862	23,633	27,827	25,592
計	1,379,317	1,483,529	1,616,384	1,756,345	1,947,614

(5)

(4)

ケーブルテレビで議会中継などを

議会改革推進特別委員会で調査



地域チャンネルの編集機器

議会では、情報の公開、住民の参加、議会の機能強化などを調査研究するために議会改革推進特別委員会を設置しました。

最初の取り組みとして、現在、中海テレビ放送局によりインターネットとケーブルテレビの整備が進められています。

情報公開の一環である議会中継などが安価で町民の皆様に分かり易く伝えることができないかについて検討しています。

中海テレビでは、既に局内に地域チャンネルを設け、他町では本会議や全員協議会、学校、町の行事、町民の生活風景、健康講座等を取材し放送しているところもあります。

また、地域チャンネルは文字放送もでき、防災無線を補完しますのでより大きな効果が期待できます。

委員会では、既に地域チャンネルを開設し、議会中継をしている日南町を視察しました。日南町では番組制作を民間委託し、議会放送は生放送と録画放送など年間に16日程放映しています。

中海テレビを視察

また、先日は放送事業者の中海テレビ放送局で、独自放送の編集や放映、各装置の設置状況等について説明を受けました。

放映される番組

の制作は中海テレビが行ない、議場のカメラは米子市内の事務所から遠隔操作で行うことが出来ます。

映像録画は町のホームページで閲覧が可能で、町内のニュース番組には町民の皆さんもレポーターとしてかわって頂くことも出来るようです。

また、緊急情報（文字放送）は、役場から情報発信が可能で、緊急時の対応と道路や川の様子を知ることのできるライブ放送ができるなど、多様な活用方法について説明を受けました。

議場内のカメラ設備、編集用機器、伝達装置などの初期投資と放送するための番組制作費、機器の維持管理費、運営体制などランニングコストも発生するので、財源や財政推計を見ながら判断することが必要と思います。



完成間近の「清化園」

平成29年度日野町江府町日南町衛生施設組合第2回定例会が、8月30日開催されました。

平成28年度歳入歳出決算を認定、補正予算、条例の一部改正が原案どおり可決されました。

その後、汚泥再生処理センター「清化園」建設工事現場の視察を行いました。

現在、既存施設解体工事が完了、試運転調整中で97割の進捗です。完成竣工式は、12月20日の予定です。

「清化園」
12月完成予定

いま地方が面白い

西部町村議会議員研修会

西部町村議会議員研修会が8月18日、日吉津村で開催されました。

「移住女子はなぜ地方に向かうのか」という演題で、浜田市出身のローカルジャーナリスト田中輝美氏を講師に迎えて研修をしました。

これから必要なことは

- ① 地方に興味のある人 見つけ出す知恵
 - ② かかわり代を提示する 移住者と一緒に考える
 - ③ 水や空気・自然・人情 だけを求めている移住は出来ない。
 - ④ 地方創生は、生み出すこと。
- 人口減だから仕方がないでなく、頑張る道を生み出す。

これらの事を基にして成功の循環モデルを作ろうと提案されました。



二人の移住女子による講演

ケーブルテレビで

広がる世界

日野郡議会議員研修会

日野郡議員研修会が7月24日、日南町で開催されました。今年度の研修は中海テレビの加藤社長を講師にお迎えして、会社が取り組んでいるいろいろな事業や、それらが現代社会にもたらしている事例を研修しました。

加藤社長は日南町出身で特に日野郡に思い入れが深く、グローバルな情報の現状と未来をお話しされました。

高速情報通信をケーブルテレビの光回線で行う利点を特に強調されました。ケーブルテレビは多チャンネルのテレビ放送が楽しめると同時に、インターネット環境も利用できることに利便性があり、地域の出来事、イベント等多面的な展開も併せ持っていると言説されました。

日野町も今年度末までにはケーブルテレビ、高速インターネット環境の整備完了にむけて、急ピッチで工事が進められています。

『議会だより』の充実が、住みよい町づくりに

議会は、定例議会（臨時議会）で議決された案件や議会活動の内容を年4回、「議会だより」で町民の皆様へ広報させて頂いております。広報紙の発行はあくまで手段であって、目的は、住民と議会との良好な関係を作り、町民の皆様が議会への関心を高めていただき、

町民の方からも「コメント

町民の方からも「議会だより」へのご指摘を頂きました。

委員会では、研修やご指摘を次回からの「議会だより」に活かし、親しまれる広報紙にしてゆきたいと思っています。

予告

議会では、町民の皆様の声をお聞きし、議会に反映させるため、11月に根雨と黒坂で座談会の開催を計画しています。

期日は追ってご案内します。お気軽にお出掛けください。



金川 守仁議員

農業を守る為の政策は

**【答】 担い手育成が
急務だと認識しています**

議員 特定農業法人、団体の育成について町はどのように取り組んでいますか。

町長 4法人が設立されていて、農地の集約、所得の向上、経営安定化の考えのもと、規模拡大など着実に運営されています。担い手の育成が急務であり、農業法人団体を育成する時期に至っていないと考えます。

議員 農業用水路の現状調査、分析はされていますか。

町長 改善要求は個別に対応し、集落単位で行う営農座談会で、補助事業の周知を図っています。

議員 農地台帳管理の実態をどのように管理されていますか。

町長 中間管理事業の活用を検討し対応しています。

議員 耕作放棄地、遊休地はどのように把握されていますか。



耕作放棄された水田

町長 農地パトロールを実施し、非農地の整理など今後の課題として取り組んでいます。

災害時緊急連絡は 大丈夫か

議員 働く就労者に緊急連絡が聞こえない実態について伺います。

町長 各戸の防災無線機と野外放送により音声と警報音などで伝える事としています。

議員 山間部など、観光客は大丈夫でしょうか、訓練時に再確認する必要がありますか。

町長 森林組合、観光協会、農林振興公社など関係者と連携して万一の災害に対する備えを再確認してまいります。



地域防災放送設備（黒坂公民館）



松本 利秋議員

根雨の街並みの 文化財保存を

【答】 保存と活用を検討します

議員 日野町は、歴史と文化の香る町で、祖先が残した貴重な文化財もあります。また、美術・音楽・地域伝統芸能といった文化振興を通じた地域づくり、人づくりを進め、文化の香る町を創ることは、地域の活性化や観光にも結びつきます。

町長 歴史ある根雨の町並みを保存していくことは、重要なことであると認識しており、今年度は町歴史民俗資料館の在り方を検討することになっています。

今後、それぞれの建物所有者の意向も確認しながら、保存と活用について検討してゆきたいと考えます。

議員 長楽寺の格天井絵図の調査及び指定は。



保存地区指定が望まれる（合成写真）

町長 絵図は、狩野派の絵師（法橋素準）の作であり、長楽寺檀家より維持管理について関連の陳情もあり、検討したいと考えます。

議員 文化財等を考える場合、精通した人いわゆる学芸員の設置が必要であると考えます。資格者を町職員に採用される考えは。

町長 町として学芸員の必要性は感じているところで



長楽寺の格天井絵図

す。今後、適任者が見つければ考えたいと思います。

議員 文化財を活用した観光への取り組みは。

町長 文化財などを観光に活用することは重要なことです。例えば、たたら文化を伝えるために「都合山たたら跡」と「根雨の町並み」の周遊が考えられますので、今年度は、モニターツアーを計画しています。



中原 明議員

森林環境保全税 継続と充実、対応は

答 成果を確認し継続を期待

議員 県森林環境保全税は県民1人当り年間五百円、法人は事業規模により千円から四千万円、収納額1.7億円です。平成29年末に執行期限が迫り、継続と充実の認識はどうですか。

町長 県民が恩恵を受けている森林の公益的機能を持続的に発揮させ、県民の負担により森林の保全を行う、林業施策に重要であると認識しています。

議員 制度継続と充実のため、三大源流町村で協議して、県に継続と充実の陳情をされませんか。

町長 その計画はありません。県は成果を見ながら継続するものと思っています。

議員 林業振興年次計画は立案されましたか。

町長 年次計画は立てておりません。事業体毎に計画を立てておられます、鳥取



森林保全には作業道が不可欠

日野森林組合と連絡を密にして取り組みます。

森林環境税創設を

議員 地球温暖化対策として、森林環境税創設が平成30年度をめざし進められていますがお考えですか。

町長 CO₂吸収対策、国土保全、担い手育成等安定的財源確保が重要です。

議員 市町村が主体的となって、実施する森林整備に必要な財源に充てる、積極的な取り組みがないと、対象になりません。

町長 有効な制度を活用して、地域振興に役立たせるべきではありませんか。



間伐で森林の適正管理を

公衆トイレの洋式化は？

答 財政の許す限り切替えてゆく

議員 町が管理している公衆が使えるトイレは和式が主流で、洋式化が進んでいないようですが、これからますます高齢化が進み、足・腰・膝などの具合で、和式は使いづらいという声があります。暫時洋式化していく考えはありますか。

町長 今のところ計画的に洋式化してゆく計画はありませんが、利用者の要望等を踏まえて個別に対応を検討するつもりです。

学校のトイレは？

議員 中学校のトイレは、女子用の場合、和式4・洋式1ですが、生徒の希望が反映されていますか。

教育長 一昨年アンケートの結果洋式の希望があったので、予算をつけて今のよう整備をしました。今のところそれ以上の要望は学校からも来ていないので、当面現状で行きます。



松尾 信孝議員



新設の駅前トイレは全て洋式で評判が良い

町長 確かに今はほとんどのご家庭が洋式ですよね。生徒が、「学校ではようしゃがんでできない」と我慢していたら便秘になったという笑えない話も聞いております。

議員 駅前トイレの開所式の時にも町長は言われましたが、トイレはおもてなしの第一歩であります。新設



県設置の滝山公園のトイレは全て和式（多目的に洋式1）

の駅前トイレも全て洋式です。利用者目線で見れば、洋式が時代の流れではありませんか。

町長 駅前トイレの盛況ぶりを見てみると、すべて洋式にしてよかったと思っています。一つの時代の流れだと認識し、財政の許す限り序々に洋式に切り替えてゆく方向でまいります。



中原 信男議員

目的別の基金を設けるべき

答 特別の基金を設ける

議員 国の財政状況は厳しく、豊かな地方自治体には交付金の削減、基金の活用を求めてくると予想されます。簡易水道、公共下水道、農業集落排水など、各事業において、近い将来インフラの整備事業が必要となります。将来的に安定運用ができるよう個別な基金を創設しませんか。

町長 日野町の公共施設は老朽化が進み、今後、修繕や改修等、長寿命化を図る

議員 公共施設等長寿命化基金は評価します。特別会計の基金を創設することにより、国に対し説明責任が果せると思いますが。

町長 国は普通交付税に手



日野中央浄化センター（舟場）

を付けようとしています。

現在は熟慮しています。

町長選挙への対応は

議員 町長選挙に立候補され4選を目指すのか、今限りで勇退をされるのか、現在の気持ちを聞かせ願います。

町長 残された任期はあとわずかですが、この任期を精一杯務めてまいっている覚悟です。最近の情勢を見た上で、

議員 9月定例会において、町民に対して意思を述べる責任が現職の町長としてあるのではないかと思います。

町長 新聞報道では、12月議会ということでしたが、遅くとも12月議会までには、きちんとした態度表明をさせていただきたいと思っています。



センター内の動力制御盤

収入保険の啓発は

答 連携しながら、啓発・周知する

議員 農地集積協力金交付金について尋ねます。

町長 農地集積協力金には、集落に交付する地域集積協力金や、農地の出し手に交付する経営転換協力金などがあります。地域がまとまった面積を10年間以上農地中間管理機構に貸し付けをし、機構から受け手に貸し付けられると交付されるもので、財源は全て国費です。

課長 農地集積協力金の平

成28年度実績は、耕作者集積協力金1件190000円、経営転換の協力金は1件30万円です。

議員 平成31年から始まる収入保険制度に伴い農業者の申告形態を尋ねます。

町長 農業者の申告形態は、青色申告か白色申告をされています。農業経営収入保険制度は任意加入です。

5年間継続して青色申告を行っている農業者が対象ですが、制度発足時なので、

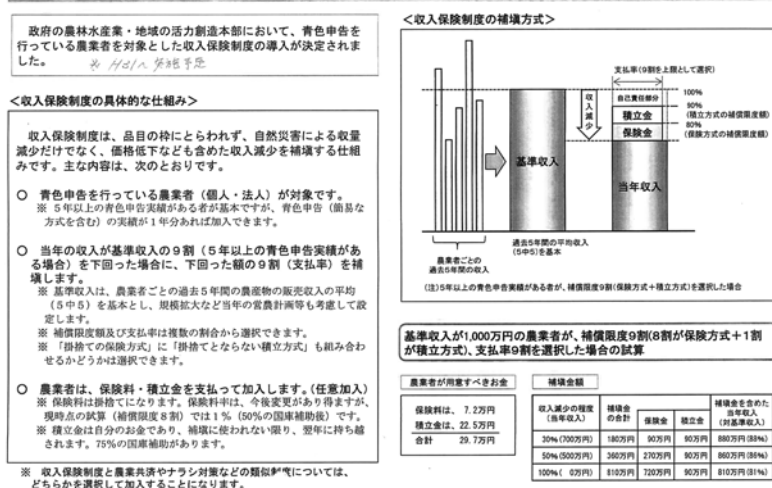


安達 幸博議員



コンバインで刈り取り

収入保険制度に関する「農業競争力強化プログラム」の取りまとめの概要



税務署に青色申告の届け出を行うと1年目でも加入対象とされます。

議員 平成31年から加入するならば平成30年3月15日までに青色申告の届けが必要ですが、啓発や周知についての考え方を尋ねます。

町長 平成29年2月に全農家にチラシを配布して周知をしています。今後も営農座談会・各種農業関係等の会議に収入保険の加入申請の仕方など案内を行う予定で、農業共済組合、JA、農業委員会等と連携しながら、啓発・周知していきたいと考えています。



佐々木 求議員

次々と住民負担が 計画されている

答 国に申し入れてゆく

議員 介護報酬・診療報酬
地域医療介護保険事業構想
(計画)・医療介護計画・
国保財政運営の県への一元
化の問題、改正介護保険法
など一斉にスタートする年
になります。
第7期の介護保険事業計
画の策定や保険料見直しの
作業も本格化しているが、
結局負担増を検討する流れ
です。
今後は法律の改正でなく
政令・省令で負担増や給付
の抑制が行われます。
地方には深刻な問題です
が、財政赤字の主因として
徹底して削減するため、国
は改革を進める工程表を



作ってまで行おうとしてい
ます。

町民の負担を大きくしな
がら、総合事業計画を作れ
という政府の法律の下で地
方自治体は苦しんでいます。
一気に流れが変わってくる
可能性があるが、どう対応
しますか。

町長 地方自治体の主体性、
裁量が拡大し、互いに支え
あう町づくりが出来れば喜
ばしいが、国が本来の責任
を放棄し、地方に責任を押し
付けてはいけません。人材
確保と育成、財源の裏付け
を地方の責任だと言って切
り捨てることのないように

国に繰り返し申し入れます。
現況つかんで整備を
議員 計画的に町道の整備
を進めるために、現況調
査・マップづくりが必要で
はないですか。

町長 全町道の現況調査は
行っていないが、道路台帳
をもとに道路巡視・地元要
望・過疎計画で緊急性・安
全性・必要性・効果等を考
慮して優先順位をつけ整備
しています。



防災マップ



緊張感漂う議場



質問を行った生徒の皆さん



答弁する町長(執行部席に議員)

日野高校生議会を開催

選挙法の改正により、18歳から選挙権が付与されま
した。そこで、若者に政治への参加と議会を理解してい
ただくために、高等学校の協力を頂き、「日野高校生議
会」を開催しました。

参加した2年生50人は、議場の議員席と傍聴席に。3
人が代表して質問に立ち、町長が答弁しました。

質問を行った3人の生徒
たちは、皆口々に「とてつ
もなく緊張した」「空気が
張りつめていた」と話し、

町の政策を決定する議会の
重みを感じていました。普
段、このような正式な場で
発表する機会はありません
意識して話さないと、普
段と同じ言葉遣いになってし
まって場を壊すのではない
かと思ひ、考えがまとまら
ず、再質問でも同じような
ことを言ってしまった、と
反省する生徒もありました。
「場」と、それに合わせた
態度に気をつけなければと
いうことを、身を持って学
んだようです。町長とのや
り取りを通して、「予算は
大事」、「話す力が身に
ついた」と感想を述べていま
した。

傍聴していた生徒たちも、
自分たちの学校のことや高
校生活に関わるのが主題
となっていたことで、行政
を「自分ごと」として捉え
ることができ、学びが深ま
る良い経験になりました。

参加した生徒は、18歳に
なり選挙権を獲得したら、
清き一票を投じたいと思っ
てくれたことでしょう。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

地域で支え愛の村づくりを

真住公民館

「お元気で、お変わりありませんか。」と声掛けをして、一人暮らしのお年寄り世帯の見守り活動を毎月1回行っています。また、積雪時の除雪や風水害が発生しそうな時には安否確認をやらせて頂いております。



平成28年度 真住公民館 第9回・大運動会 平成28年10月16日
第9回・文化祭(10月15日～16日)／第7回・長寿を祝う会(10月16日)

特に高齢化が進んでいる地区であり、大事が起きないよう地域での支え愛の村づくりに努めています。健康づくりでは、高齢者のみならず誰でも参加できる「ぼかぼか教室」を開催。始めた頃は50人もの参加者がありましたが高齢化が

進み現在は10人程度になりました。区民の交流の場でもありますので、続けたいと思っています。

他にも、ソバ同好会は休耕田の活用を図る一方、長寿を祝う会や年末にはお年寄り世帯に、年越しソバのプレゼントをして喜ばれています。また女性会で、手芸グルーブを組織して袖なしなどを作り、町のふれあいまつりにも出品しています。

真住地区の最大のイベントは、以前から続いていた大運動会に併せての長寿を祝う会と文化展です。地区の老若男女が公民館に集まり楽しい一日を過ごします。

明地峠展望台を設置

活性化面では、国道180号・明地峠からの雲海は素晴らしく、この度奥渡牧野組合のご協力を頂き、雑木林を伐開して、新明地展望台を現在の展望台付近に造りました。ぜひ見物や写真撮影にお越しください。



国道180号 明地峠に新展望台造り

気分が爽快になりますよ。

11月12日(日)には4回目の明地峠からの雲海・八つ墓村ロケ地散策ツアーを募集します。(ご案内は、日野軍秋の陣のチラシで。)

真住公民館活動は、町青年の家の廃止に伴い、真住連合区が施設を借り受けてからで、10年となりました。始めた当時の住民は、260人(高齢化率50%)でしたが、現在は200人(64%)になり、急速な高齢化の進展から活動のあり方などの見直しが迫られています。

あしがき

「日野町議会だより」も発行回数が115号となりました。町の予算、行政の動き、先人の議会活動、一般質問など歴史が刻み込まれた時代の移り変わりが編集されています。

ともすれば一方通行になりがちな刊行物ですが、今以上に町民の皆様に愛読いただき「議会改革」の一環になればと考えます。

将来を見越して「楽しい町づくり」を実現するため、皆様との意見交換が提案できればと思います。

「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉にした広報誌づくりを今後も展開してまいります。

金川 守仁 記

議会広報常任委員会

委員長 松本 利秋
副委員長 松尾 信孝

佐々木 求
小谷 博徳
金川 守仁
山形 克彦